

未利用バイオマスからの有価資源、機能性成分の抽出・回収・精製技術

キーワード 米糠, タンパク質, 有機リン化合物



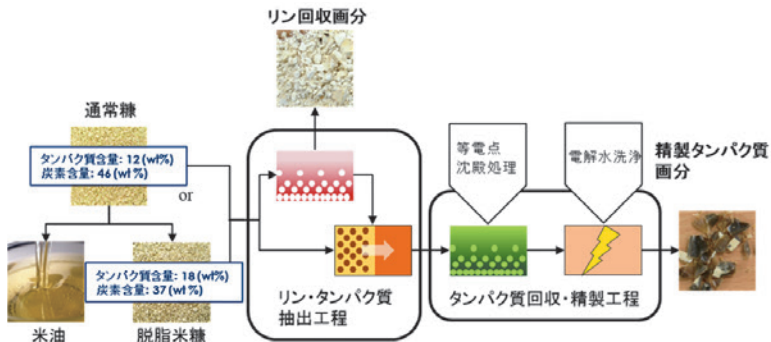
■ 研究概要

食品、農業、水産加工由来バイオマスから新規環境飽和型プロセス（IP-EWT法）により、有価資源、機能性成分の効率的な抽出・回収・精製が可能です。

“IP-EWT法”とは？

バイオマスに含有する有価物、機能性成分を抽出・回収・精製する技術であり、その特徴として、

- ① 副原料・資材を必要としない、低コストプロセスである。
- ② 有機溶媒を必要としない、環境調和型プロセスである。
- ③ 本プロセスは、等電点沈殿（IP）による成分の回収、電解水（EWT）による成分の精製が可能であり、複雑な生成プロセスを必要としない為、スケールメリットが高い。
- ④ 食品、農産、水産分野におけるバイオマスを対象としており、適用範囲が広い。



■ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・ バイオマスに含有するタンパク質の回収
- ・ 米糠等、バイオマスに含有するタンパク質の有効利活用
- ・ 既存商品の高栄養価

渡辺 昌規 教授 WATANABE, Masanori

専門分野：バイオマス資源学・生物化学工学・応用微生物学
E-mail：mwata@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

